

地場企業、IT企業、地銀が一体となり推進 地場企業のDXプロジェクト

株式会社ネクスト（岩手県盛岡市）
株式会社大門米商（宮城県加美町）
株式会社東北銀行（岩手県盛岡市）

ネクストは1988年創業のIT企業。県内企業におけるDX推進にも注力しており業務効率化・状況改善の提案を行っている。
 大門米商は米の買付け、販売を行う米卸売業。
 東北銀行は1950年に創業し、「地域金融機関として地域社会の発展に尽くし共に栄える」という経営理念を掲げている。



業務データを一元管理するDBをクラウド上に構築し、タブレット、PCから入力・活用できるシステムを構築。
 負担が大きかった伝票処理がゼロに。事務処理200時間の削減に成功！
 さらにデータを活用し買付け精度向上・経営戦略の高度化に成功！

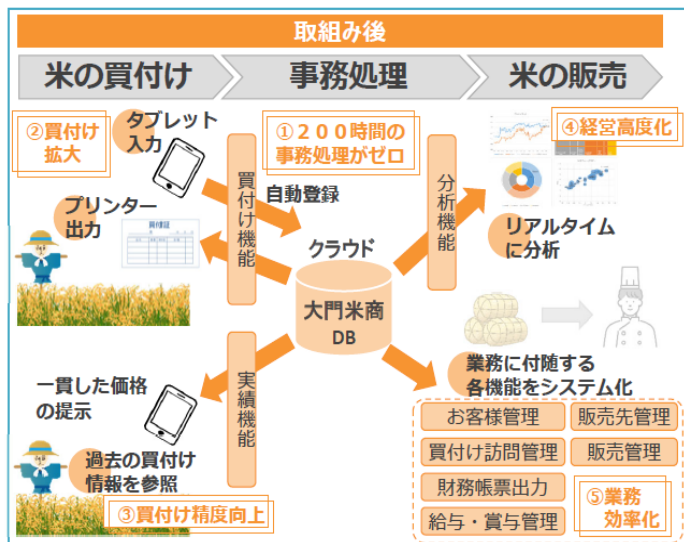
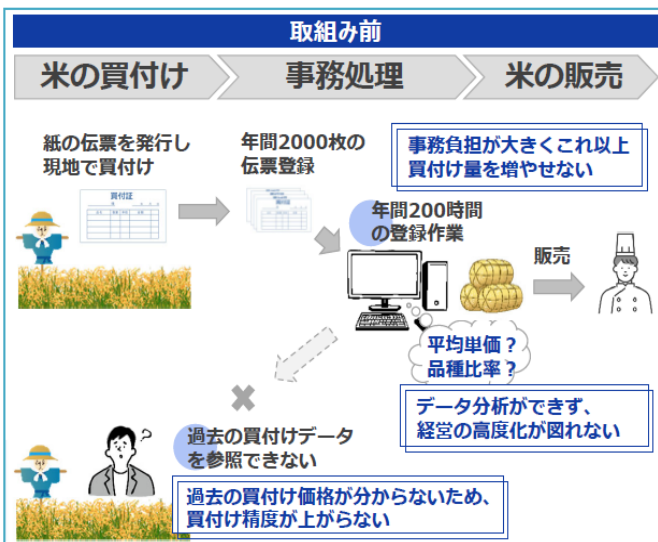
取組の背景は？

近年、大門米商では順調に業績を伸ばしており米の買付け量が約5倍に伸びていたが、業務の仕組みは従来のままであり、紙伝票で処理を行っているため、事務処理の負荷が高くこれ以上買付け量を増やすことができなかった。買付け場所には電波の届かないところもあり、旧システムを構築したシステムベンダーに相談するも、システム化は不可能と言われ、対処ができない状況であった。そこで東北銀行は、お客様であった大門米商の状況を知り、地場企業のDXに強いネクストに対応を依頼した。



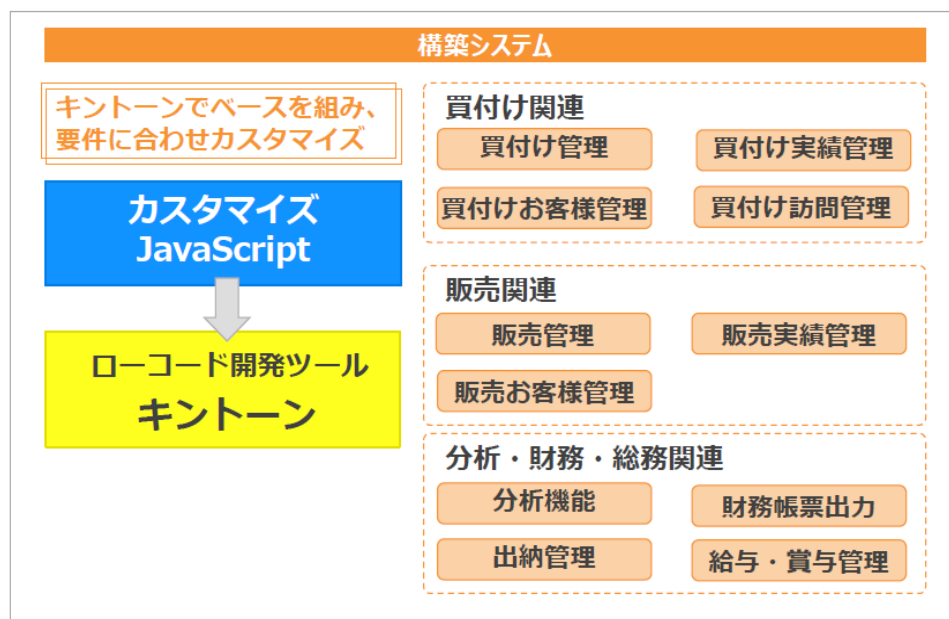
具体的な取組内容は？

東北銀行は大門米商の業務を経済産業省ローカルベンチマークを活用し、業務全体を俯瞰しながら課題の抽出・明確化を実施。明確化された課題に対し、3社ですり合わせながら要件を効率的に整理した。そして、これまで紙の伝票をベースに業務を行っていたところ、**業務データを一元管理するDBをクラウド上に構築し、タブレット、PCから入力・活用できるシステムを構築した。**



工夫したポイントは？

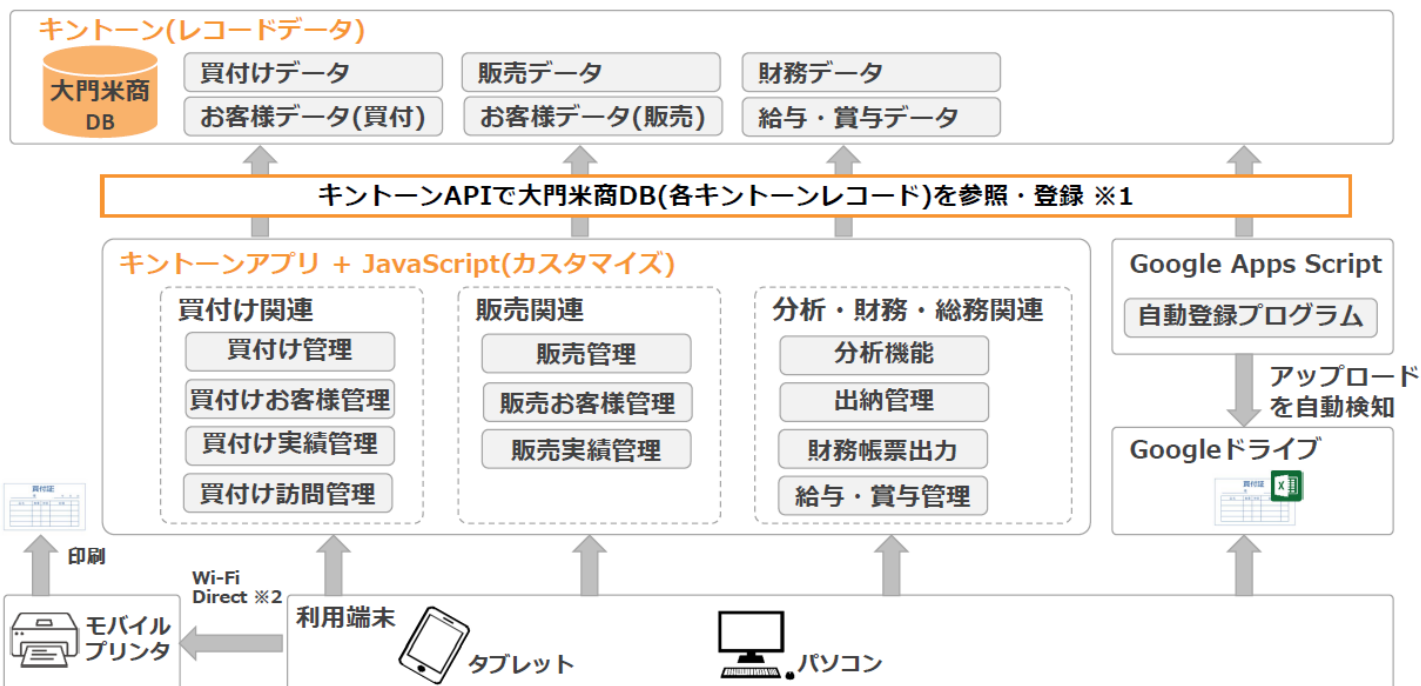
クラウドサービスのローコード開発ツールキントーン、Googleドライブ、Google Apps Scriptを組み合わせたことで、従来のゼロから開発する方法に比べ、**開発量を5分の1程度に抑え**、短期間に完成することができた。加えてサーバ環境の構築も不要になる手法であるため、**開発費用は従来に比べ5～8分の1**に抑えることができています。



効果は？

- ① 事務負担が大きかった伝票処理がゼロに。事務処理200時間の削減に成功。
- ② ボトルネックとなっていた事務負担が軽減されたことで、買い付け量の拡大が可能に。
- ③ 過去の米の買い付けデータが活用でき、買い付け精度が向上。
- ④ 米の買い付け状況をリアルタイムに分析でき、平均単価や品種比率など経営の高度化に成功。
- ⑤ 販売業務やお客様管理、給与・賞与管理など、大門米商全体をシステム化し業務効率化を実現。

<システムの全体概要>



※1 キントーンAPIとは、キントーンの各データレコードにキントーンのアプリケーション、もしくは外部システムからアクセスする方式のこと。
※2 Wi-Fi Directとは無線LANを利用した通信方式で、インターネット接続の必要なしに独自のWi-Fiネットワークを確立しデバイスと接続が可能なもの。